

六華会だより



高校野球で地区の代表を勝ち取る難しさ。ましてやその頂点に立つこととなれば、大偉業と言える。毎年試合毎にヒーロー・ドラマが生まれるのも、高校野球の魅力の一つである。

昨年の本誌で母校の甲子園出場の夢と期待に触れたが、この原稿をまとめている最中に甲子園での熱戦が始まった。

8月21日、高田からの帰路、高田駅の売店で県代表の日本文理がベスト4に残った旨の新潟日報の小さな号外（A4）が売店に置かれており、一枚頂戴する。「日本文理4強・県勢史上初の快挙」の文字が強調されている。新潟県としては号外を発行するに値する大ニュースである。

初戦突破は同校にとって甲子園初勝利、その時は良く頑張った程度の気持ちで応援していた。決勝に進んだ時は、きっと大きな号外が配られたことでしょう。

決勝戦の結果は皆さんご存知の通り、優

勝した中京大中京（昔の中京商）のナインは涙々々、敗れた日本文理ナインは笑顔。9回2死ランナー無しから5点連取し、1点差に迫り実力を出し切った満足の笑顔であった。

中京大中京は43年ぶり7回目の優勝とのこと、ベスト4に残った花巻東（岩手）は、岩手勢90年ぶりとのことで、記録が良く整理されていることに脱帽。

東京西代表の日大三高（東京・町田市）が2回戦で敗退。町田市の住民の私としては、期待はずれで残念なこの夏の高校野球であった。

今大会代表49校のうち、県立高校が10校、代表を勝ち取っている。県立岐阜商が4強に残った。そして特筆すべきは、甲子園常連の帝京、PLを破っていることである。

この大会の陰で、衆院選の8月30日に軟式野球の決勝戦が行われ、作新学院（栃木）が2連覇を飾っている。決勝戦に敗れた名

城大附属（愛知）の小林投手が1回戦で完全試合を達成している。また、27日の神戸弘陵（兵庫）対東山（京都）戦では、延長15回0対0でサスペンデッドゲームとなり、翌28日16回から再開され、24回裏1点が入り、東山が勝利。お互い両チームのエースが最後まで投げ抜いており、賞賛に値する。残念ながら、TV放送等に全く取り上げられていない。女子高校野球では、花咲徳栄（埼玉）が優勝を勝ち取っている。

東京六大学リーグで万年最下位の東京大学が、この夏休みを利用して最下位脱出を図ろうとしている。来春受験の有望な高校3年生を対象に、コーチが講師となって「学力強化合宿」を実施したということを知った。成果は来年。母校にも何か戦略を期待したいが。グラウンドの完成をみたので今後の野球部の諸君に期待しています。頑張れ!!

—— 主な活動状況 ——

1 第35回総会

- 日時 平成20年12月4日(木)
- 出席 会員38名、来賓5名

2 スキー・ツアー

- 湯沢：平成21年1月20日(火)～22日(木)
参加 男子9名、女子2名
- 赤倉：平成21年2月22日(日)～24日(火)
参加 男子19名、女子4名、
来賓2名

3 メダル贈呈

- 上越・妙高両市体協向け
平成21年5月24日(日)
於 やすね
伊崎会長、岡村幹事長が出席
- 母校向け



- 平成21年7月11日(土)
於 やすね
伊崎会長、樫野副幹事長が出席
本部同窓会で、会員の前で伊崎会長より草間校長に贈呈される。

4 親睦旅行会

- 日時 平成21年10月19日(月)～20日(火)
- 場所 湯沢温泉
(経過は次号で)

幹事長 岡村成行（高6回）